

「アートの本棚 展示」

豊北高校図書室

2015年10月27日—11月6日 読書週間

展示内容

川原一夫氏 作品と蔵書

宮沢賢治塑像 金子光晴塑像 金子光晴全集 20巻

川原一夫さんは私の尊敬する造形家です。飾らないお人柄です。文学にも造詣の深い方です。

3年前に川原さんの作品を初めて見た時、心が圧倒されました。人が真実に生きることがこのようにあらわされるのかとびっくりしました。宮沢賢治は皆さんもよくご存じでしょう。彼の文学作品は東日本大震災からの復興を支える精神的な柱の一つです。金子光晴は現代詩人の一人です。手ごわいおじさんです。一つの詩をわからなくても読んでください。川原さんは金子光晴さんに直接お会いされたと聞きました。

「アートの本棚」の本 (61冊 豊北高校卒業生 波多野宏之氏提供)

・フランスやアメリカで発行された「子供たちに絵画に興味を持ってもらうための本」

ともかく楽しい。アートは私たちの生活のすぐそばの出来事です。楽しむこと。それがよくわかります。

・舞台芸術関係の書物

映画や演劇の舞台装置を作ることは立派な一つの芸術のジャンルになっています。どんな世界かのぞいてみてください。

・フランスのショボーという人が描いた絵本

ルノー坊やとのお父さんの掛け合いでお話が展開します。面白い。残酷な話。要するにお父さんが子どもにその場で勝手にお話を作って聞かせるといった趣向です。でも何か考えさせられるところもあります。ショボーという人はお医者さんでした。でも、自分の子どもの病気を自分で手術せざるを得ず、その子は死んでしまいました。ルノー坊やとのやりでお話を展開させたかった気持ちがわかります。絵も独特です。

・DADA シリーズ

近代西洋美術の日本語で書いた易しい解説本です。近代の西洋絵画に親しんでみてください。絵画の流れは同時に思想の流れであることがわかります。

・絵本そのもの

理屈はいりません。出会いがあります。

(文責 岡崎)

北高夢ロード実行委員会